

およそ 3 万年前、私たちの祖先「ホモ・サピエンス」は、同じ時代を生き、体型も大きく腕力が強い「ネアンデルタール人」に生存競争で勝ち抜いたと言われております。

ホモ・サピエンスとネアンデルタール人の脳の大きさはほぼ同等であり、ネアンデルタール人の方が石器の製作・使用が優れていたと言われております。体型も小さく、腕力に劣るホモ・サピエンスが生存競争に勝ち抜いたのは、ネアンデルタール人より咽喉が低い位置にあり、母音をうまく発生することができたと言われております。私たちホモ・サピエンスが手に入れたのは「言葉」。これこそが、私たち祖先が生き抜いた理由です。言葉を使って効率よく狩りを行い、狩りが終われば失敗した理由を考え話し合う。こうして新しい工夫を話し合い、次回の狩りでさらに効率よく獲物を狩るのです。言葉を使うことで初めての知識や経験を共有することによりホモ・サピエンスが生き残り、仲間との円滑な組織力で旧石器時代を勝ち抜いたのです。

現代の私たちのコミュニケーションは親指でのコミュニケーションの時間が多く、本来「ヒト」が行うべきコミュニケーションの方法が希薄になってきております。

VUCA の時代だからこそ、私たち祖先が旧石器時代を生き抜いた知恵を生かし、現代を生き抜きメンバー一人ひとりが成長する必要があります。私たち能力向上委員会ではメンバーの個々の成長につながる事業を構築いたします。